

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成27年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立草加西高等学校		Aグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	特別支援学校の分校が併設されている学校の特色を踏まえるとともに、開校以来学校の根幹となっている自立という視点に立った目指す学校像が設定されている。学校の現状や課題などを踏まえて概ね適切に設定されているが、次のステージに向けてより明快かつ具体的な学校像にしていきたい。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	地域の期待、生徒の学力や進路の実態を踏まえ、重点目標が設定されている。やや網羅的かつ抽象的な目標となっているので、学校の置かれた状況などを把握した上で、中期的な視点から、更に検討・整理して目標の重点化を進めることが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校評議員・学校評価懇話会の意見をまとめ、教職員に伝え、共通理解が図られている。「重点目標→評価項目→方策」の連鎖がやや不十分なところもあるので、分掌・学年間の連携を図り、よく議論をしながら、より具体的な評価項目や方策について検討・策定する体制を整備して、教職員全体の参画を促していきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	草加かがやき特別支援学校草加分校との交流や、「西高ブレイクスルー」による計画的な進路指導など様々な方策が実施され、具体的な成果も上がっている。分掌・学年等のシートは作成されているが、学校全体の目標と連鎖させて更に組織的に課題の解決に取り組めるようにすることが望まれる。評価指標については、教職員間で達成イメージを共有できるものとして工夫されており、方策の達成状況を評価するためのものとして適切である。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長は組織力を高め、学校自己評価システムを生かした学校経営に取り組もうとしている。教職員一人一人を適切に生かし、組織力を高めようとする校長の意欲が感じられた。更に共通理解を深め、目標の達成を目指すことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	年度末に総括会議を行い、評価項目の達成状況を検証し、次年度への課題と改善策を示している。課題や次年度への改善策を明らかにするため、必要なデータとなるように各種アンケートの工夫を進め、更に学校関係者の意見を良く引き出して、次年度のより具体的な取組につなげるようにしていきたい。	
特記事項			